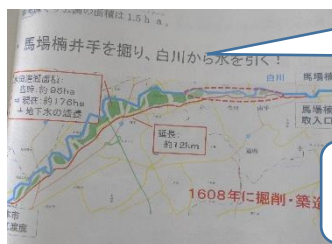




3・4年生 子どもガイド養成講座④ 先週に引き続き楽しく学習しました！

9月10日（金）は、第4回目の子どもガイド養成講座でした。3年生は、内田さんから「鼻ぐり井手と生活（眼鏡橋を含む）」、4年生は松永さんから「鼻ぐり井手の仕組みや清正公のお話」と題してお話をいただきました。菊陽町には、清正公が作ったものが二つあるそうです。それは、杉並木と鼻ぐり井手です。また、県内には眼鏡橋が345基確認されているそうですが、菊陽町には4基あり、井口眼鏡橋は非常に貴重なものとのことでした。今回も面白いお話がたくさん聞けました。



白川の流れと井手の位置関係を示した資料です。

3500年前の辛川土器について説明を受けています。



前途洋々

運動会は形を変えて実施～ 6年生のリーダーシップに期待「フレイフレイ南小」！

9月10日（金）にお知らせしたとおり、本年度の運動会は期日を変更し、10月5日（火）に、授業参観の形式で実施することとしました。学年を分けて実施するため、同じ瞬間に、全員での一体感を感じることは難しい状況かもしれません。6月から、2度にわたってコロナの影響を受けてしまうことになりましたが、このような状況だからこそできた運動会だったと価値付けできることが重要だと思っています。

赤・白での点数を競うことはなくなりましたが、一人一人の仲間にエールを、家族にエールを、南小にエールを、地域の方にエールを、そしてコロナの収束のために闘っているすべての人にエールを贈り合えるような機会にできればと考えます。

10日の朝、ライブ配信で、私から次のような話をしました。

- 期日も方法も変わったけれど、みんなの頑張りを見せる機会であることに何も変わりはない。こんなに大変なときだからこそできた、頑張れた、という時間にしよう。そして、見ている人すべてに元気を与えられるようにしよう。人は、頑張っている人を見ると勇気をもらえる。希望をもらえる。
- 一緒に過ごす仲間、お家の人、地域の人、コロナと闘っている人たちすべてに元気になってもらえるよう、しっかり練習をして最高の姿を見せよう。
- 6年生には学校をしっかりと盛り上げてほしい。

なお、私事ですが、5年前の熊本地震の直後に、当時の勤務校で行った運動会を思い出します。校区内の被害状況もあり、実施するか否か協議した結果、「こんな時だからこそ地域を元気にしよう」という結論に至りました。そして、児童・職員・保護者が一体となって実施することができました。競技のあちこちに、「地震には負けないぞ！」という子供たちのメッセージが散りばめられ、一日中涙が止まりませんでした。今回は、地震災害と状況は異なりますが、学習の成果を披露することによって、子供たちや保護者の方が希望を持って進むことができるような日になればいいなと思っています。

フレイ、フレイ、 南小！



職員室に少しずつ貼られ始めた、運動会に向けて子供たちが描いた万顔旗。最後はどのように仕上がるでしょうか。